

高齢者の現状

(1) 人口と世帯の推移

① 加古川市の人口と高齢化率の推移

本市の人口は、平成 27 年をピークに減少しており、その減少幅は拡大傾向にあります。また、総人口に占める高齢者人口の割合は増加傾向にあり、令和 8 年（2026 年）では平成 22 年（2010 年）と比べて約 1.3 倍、また、後期高齢者（75 歳以上）でみると 1.9 倍になっています。一方、高齢者を支える生産年齢人口は減少していることから、今後ますます生産年齢世代 1 人が支える高齢者数が増加することが見込まれます。

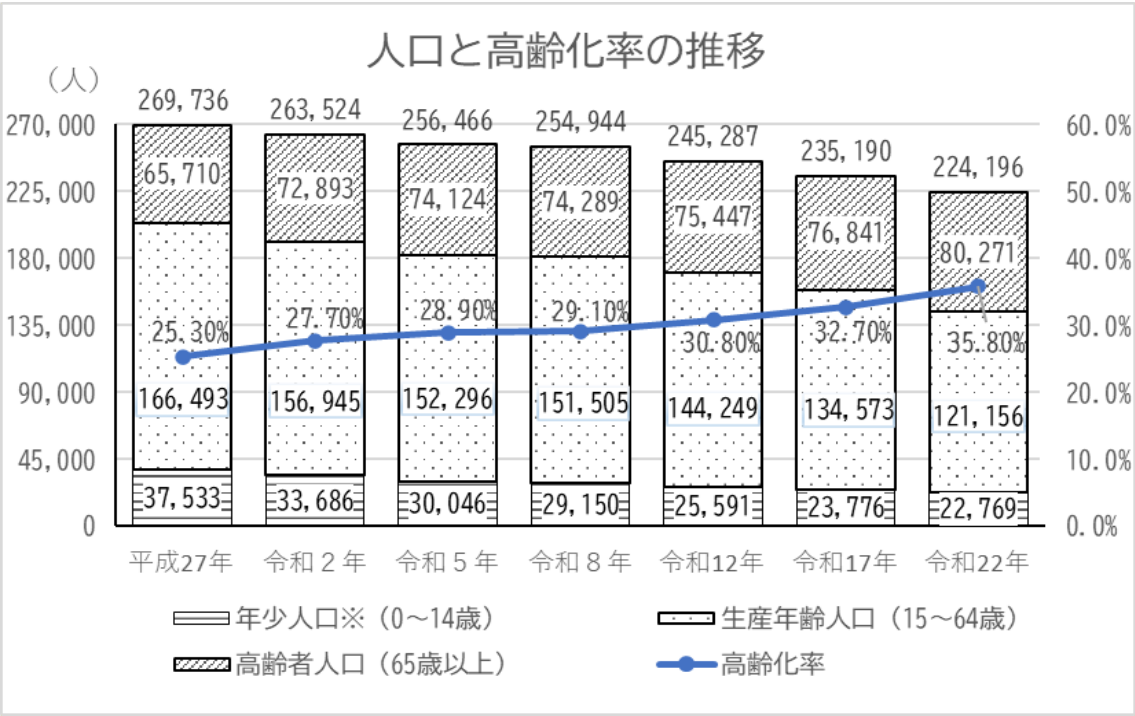


表 人口と高齢化率の推移

単位：人

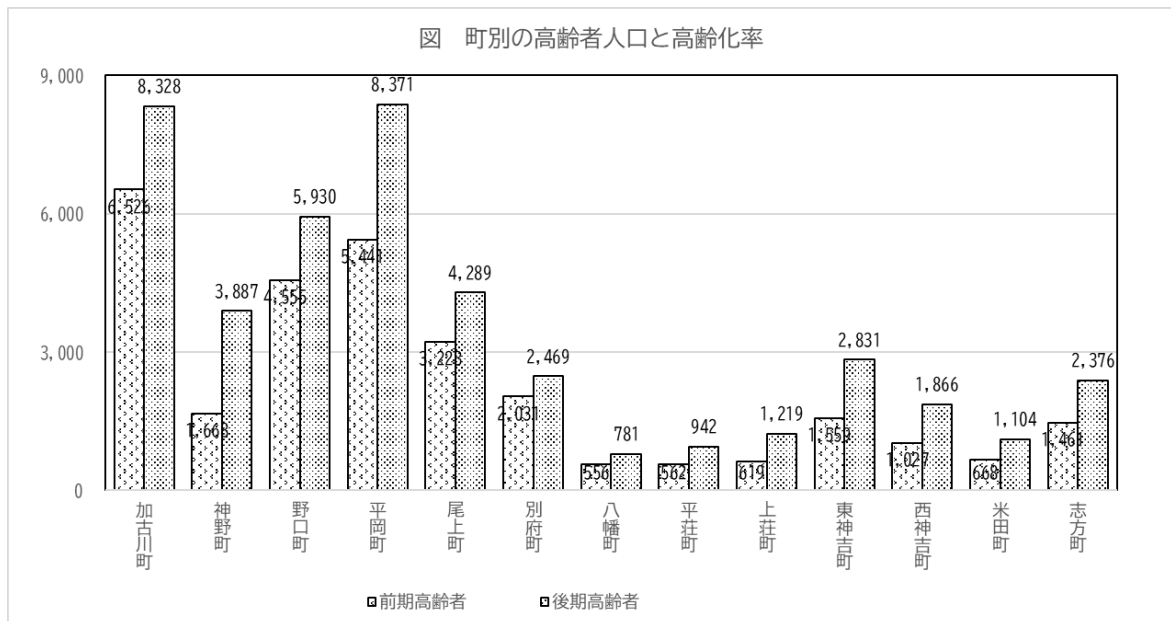
区 分	平成 27 年	令和 2 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 12 年	令和 17 年	令和 22 年
総人口	269,736	263,524	256,466	254,944	245,287	235,190	224,196
年少人口※ (0～14歳)	37,533	33,686	30,046	29,150	25,591	23,776	22,769
生産年齢人口 (15～64歳)	166,493	156,945	152,296	151,505	144,249	134,573	121,156
高齢者人口 (65歳以上)	65,710	72,893	74,124	74,289	75,447	76,841	80,271
高齢化率	25.3%	27.7%	28.9%	29.1%	30.8%	32.7%	35.8%
後期高齢者人口 (75歳以上)	27,765	35,528	42,980	44,393	46,975	45,660	44,502
後期高齢化率	10.7%	13.5%	16.8%	17.4%	19.2%	19.4%	19.8%

資料：住民基本台帳（平成 22 年～令和 8 年、各年 4 月 1 日現在）
令和 12 年～令和 22 年 国立人口問題研究所 令和 5 年公表将来推計

② 各町別の高齢者人口と高齢化率

高齢者人口は、加古川町、平岡町においては 15,000 人に迫る状況、野口町も 10,000 人を超え、尾上町は 7,000 人、神野町も 5,000 人を超えています。高齢化率は、平荘町、上荘町、志方町で4割を超え、神野町、八幡町、東神吉町、西神吉町、米田町においても3割を超えています。

高齢化の進行している地域では、支え合いの担い手の減少が懸念され、高齢者の生活を地域で支えていくため、助け合いや支え合いの仕組みづくりが重要となります。



■町別の高齢者人口と高齢化率

単位：人

区 分	総人口	高齢者人口	高齢化率	
			前期高齢者	後期高齢者
加古川町	60,049	14,854	6,526	8,328
神野町	14,559	5,555	1,668	3,887
野口町	38,961	10,485	4,555	5,930
平岡町	48,667	13,812	5,441	8,371
尾上町	29,005	7,512	3,223	4,289
別府町	17,194	4,500	2,031	2,469
八幡町	3,562	1,337	556	781
平荘町	3,487	1,504	562	942
上荘町	4,291	1,838	619	1,219
東神吉町	12,770	4,390	1,559	2,831
西神吉町	7,740	2,893	1,027	1,866
米田町	5,713	1,772	668	1,104
志方町	8,946	3,837	1,461	2,376
全市	254,944	74,289	29,896	44,393

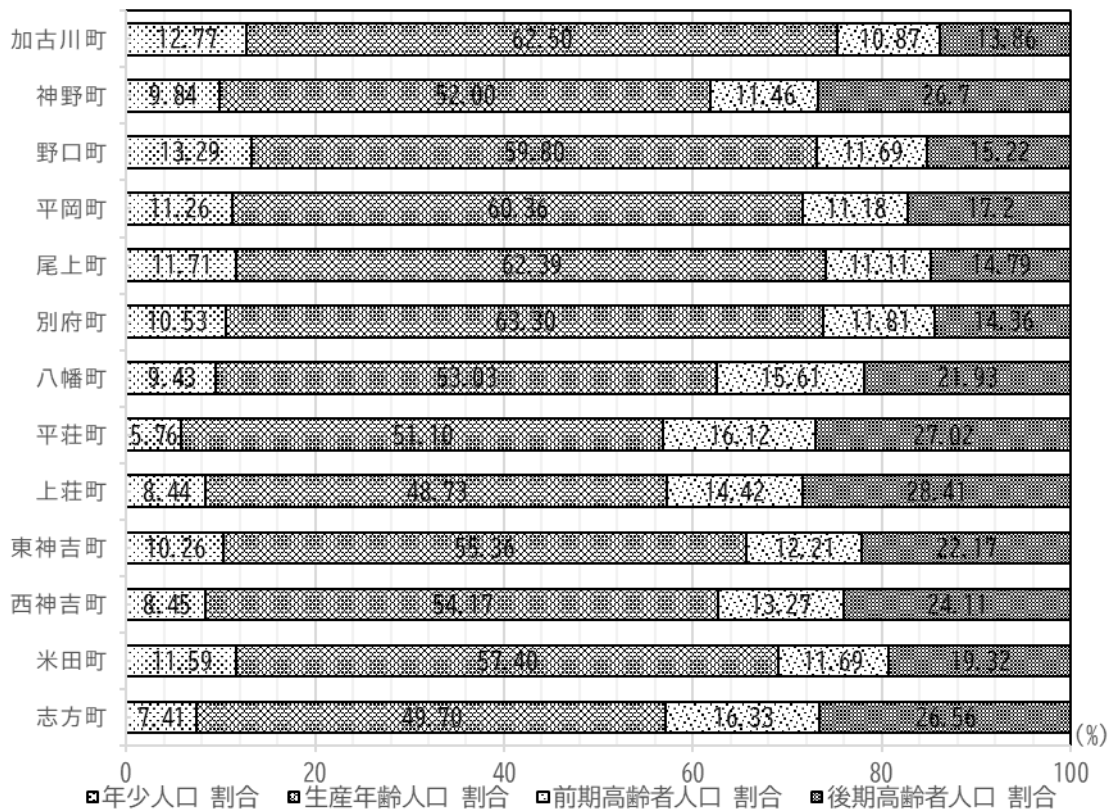
資料：住民基本台帳（令和8年4月1日現在）

町別年齢4区分別の人口構成

単位：人

区 分	総人口	年少人口		生産年齢人口		前期高齢者人口		後期高齢者人口	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
加古川町	60,049	7,667	12.77	37,528	62.50	6,526	10.87	8,328	13.87
神野町	14,559	1,433	9.84	7,571	52.00	1,668	11.46	3,887	26.70
野口町	38,961	5,176	13.29	23,300	59.80	4,555	11.69	5,930	15.22
平岡町	48,667	5,478	11.26	29,377	60.36	5,441	11.18	8,371	17.20
尾上町	29,005	3,398	11.72	18,095	62.39	3,223	11.11	4,289	14.79
別府町	17,194	1,810	10.53	10,884	63.30	2,031	11.81	2,469	14.36
八幡町	3,562	336	9.43	1,889	53.03	556	15.61	781	21.93
平荘町	3,487	201	5.76	1,782	51.10	562	16.12	942	27.01
上荘町	4,291	362	8.44	2,091	48.73	619	14.43	1,219	28.41
東神吉町	12,770	1,310	10.26	7,070	55.36	1,559	12.21	2,831	22.17
西神吉町	7,740	654	8.45	4,193	54.17	1,027	13.27	1,866	24.11
米田町	5,713	662	11.59	3,279	57.40	668	11.69	1,104	19.32
志方町	8,946	663	7.41	4,446	49.70	1,461	16.33	2,376	26.56
全市	254,944	29,150	11.43	151,505	59.43	29,896	11.73	44,393	17.41%

図 町別年齢4区分別の人口構成



資料：住民基本台帳人口（令和8年4月1日現在）

③ 高齢者世帯の推移

高齢者世帯の推移は、令和５年で 18,278 世帯となっており、核家族化の進行の結果、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加し、孤立しやすい高齢者や「老老介護」が増加していくことが推測されます。そのため、身近な地域で支えていく仕組みづくりが重要となります。

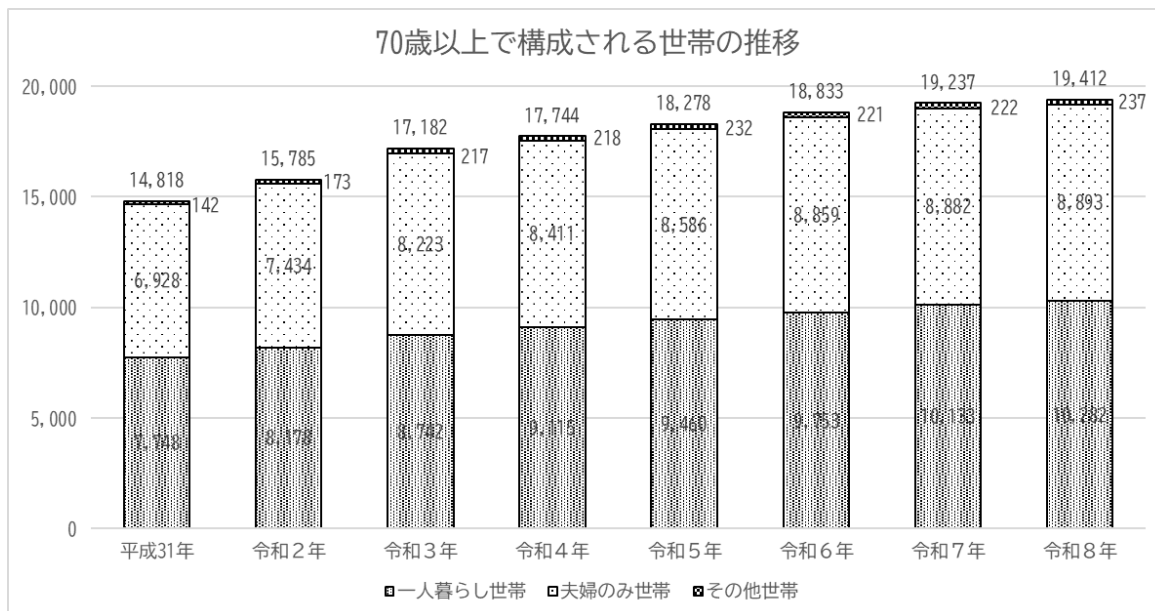


表 高齢者世帯の推移

単位：世帯

区 分	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年
一人暮らし世帯	7,748	8,178	8,742	9,115	9,460	9,753	10,133	10,282
夫婦のみ世帯	6,928	7,434	8,223	8,411	8,586	8,859	8,882	8,893
その他世帯	142	173	217	218	232	221	222	237
合計	14,818	15,785	17,182	17,744	18,278	18,833	19,237	19,412

資料：民生委員・児童委員による「居宅ねたきり高齢者等の実態調査」（各年４月１日現在）

※調査対象者は 70 歳以上となっている

(2) 要支援・要介護認定者数の推移

要支援・要介護認定者※数の推移は、令和8年では16,194人となり、令和4年と比べ約1.13倍と緩やかに増加しています。要支援・要介護度別にみると、要支援1が他の認定区分に比べてやや増加しており、約1.35倍となっています。

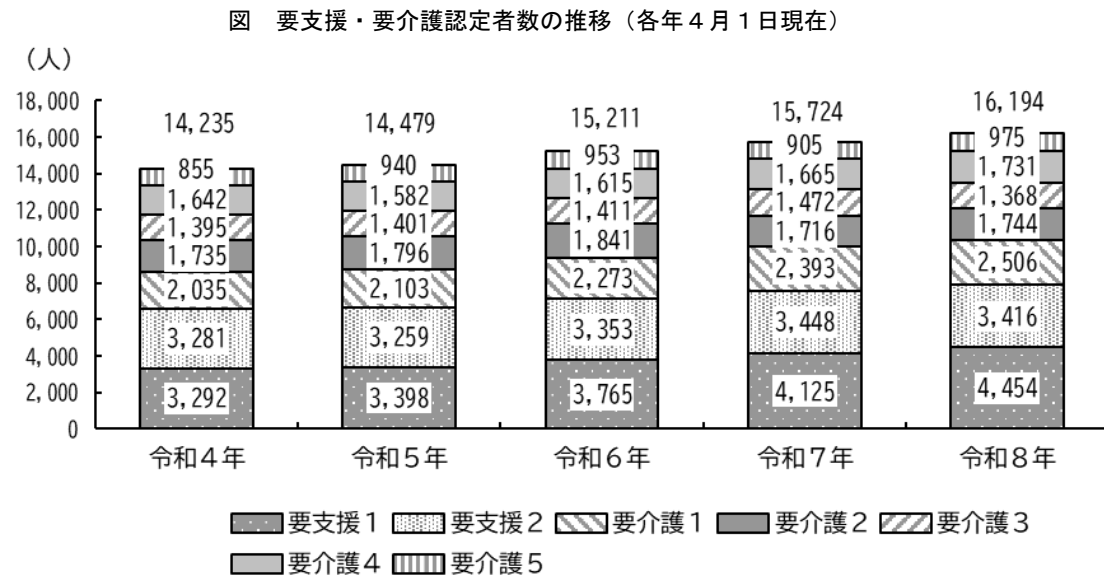


表 要支援・要介護認定者数の推移（各年4月1日現在）

単位：人

認定区分	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
要支援1	3,292	3,398	3,765	4,125	4,454
要支援2	3,281	3,259	3,353	3,448	3,416
要介護1	2,035	2,103	2,273	2,393	2,506
要介護2	1,735	1,796	1,841	1,716	1,744
要介護3	1,395	1,401	1,411	1,472	1,368
要介護4	1,642	1,582	1,615	1,665	1,731
要介護5	855	940	953	905	975
合計	14,235	14,479	15,211	15,724	16,194
対前年度比	—	101.7%	105.0%	103.4%	103.0%

※第2号被保険者（40～64歳）を含む

(3) 介護保険サービスの利用状況

① 居宅介護（介護予防）サービスの利用者数の推移

要介護・要支援認定者数の伸びに伴い、居宅介護（介護予防）サービスの利用者についても、同じような水準で推移しています。

図 居宅介護（介護予防）サービスの利用者数の推移

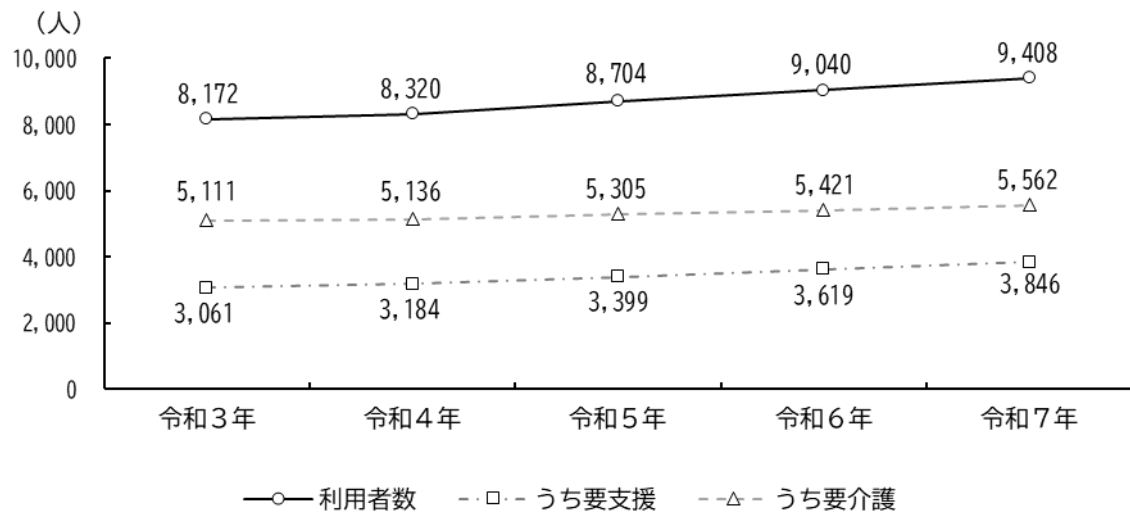


表 居宅介護（介護予防）サービスの利用者数の推移（各年10月実績）

単位：人

認定区分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
利用者数	8,172	8,320	8,704	9,040	9,408
（うち要支援）	3,061	3,184	3,399	3,619	3,846
（うち要介護）	5,111	5,136	5,305	5,421	5,562
対前年度比	—	101.8%	104.6%	103.7%	104.1%

② 施設介護サービス利用者数の推移

施設介護サービス利用者数については、毎年若干名増え続け、右肩上がりで推移しています。

図 施設介護サービス利用者数の推移

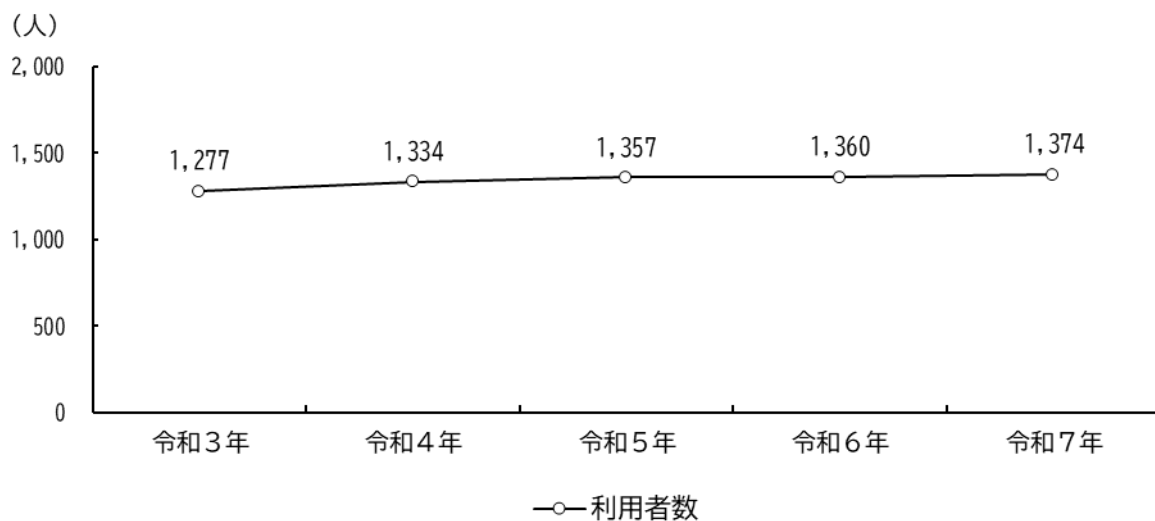


表 施設介護サービス利用者数の推移（各年10月実績）

単位：人

区 分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
利用者数	1,277	1,334	1,357	1,360	1,374
対前年度比	—	104.5%	101.7%	100.2%	101.0%

③ 地域密着型（介護予防）サービス利用者数の推移

地域密着型（介護予防）サービス利用者数については、要介護・要支援認定者数の増加及び市内施設の整備が進んだことに伴い、利用者数が増加傾向で推移しています。

図 地域密着型（介護予防）サービス利用者数の推移

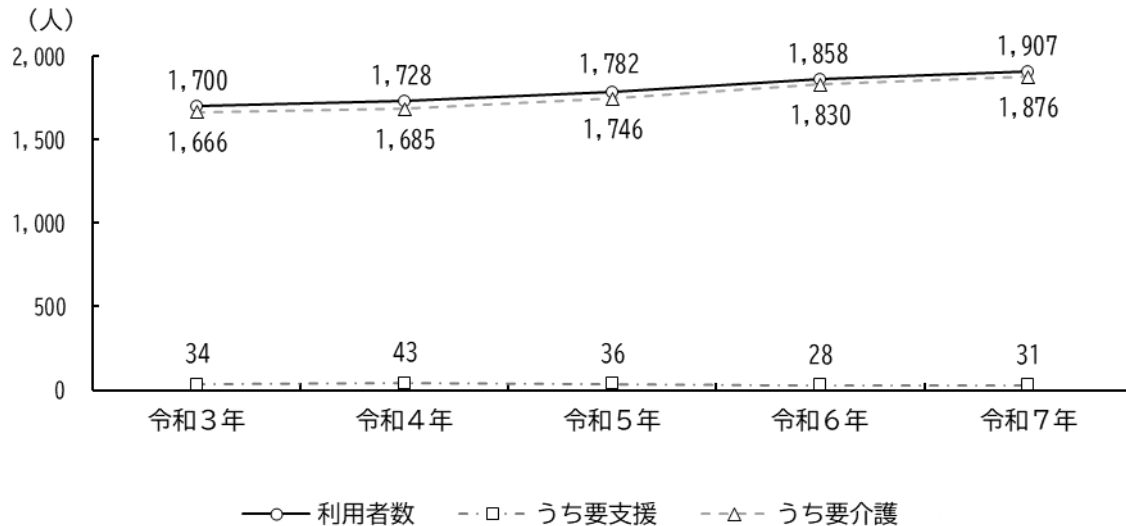


表 地域密着型（介護予防）サービス利用者数の推移（各年10月実績）

単位：人

認定区分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
利用者数	1,700	1,728	1,782	1,858	1,907
（うち要支援）	34	43	36	28	31
（うち要介護）	1,666	1,685	1,746	1,830	1,876
対前年度比	—	101.6%	103.1%	104.3%	102.6%

(4) 死亡者数と看取り場所の推移・推計

死亡者を異常死・看取り死に区別し、看取り死を死亡場所別に分類しました。2021 から 2023 年の死亡者数は 2,800 人超で推移しており、2040 年 3,666 人まで増加すると推計されました。

将来推計における「異常死」「その他・不詳」は 2021 年から 2023 年の全死亡に対する割合の平均値、「医療機関」での死亡者は 2023 年から変化しないと仮定し算出しました。「自宅」「施設」での看取りは、2040 年には 1,550 人が見込まれ、2023 年の約 1.5 倍となります。

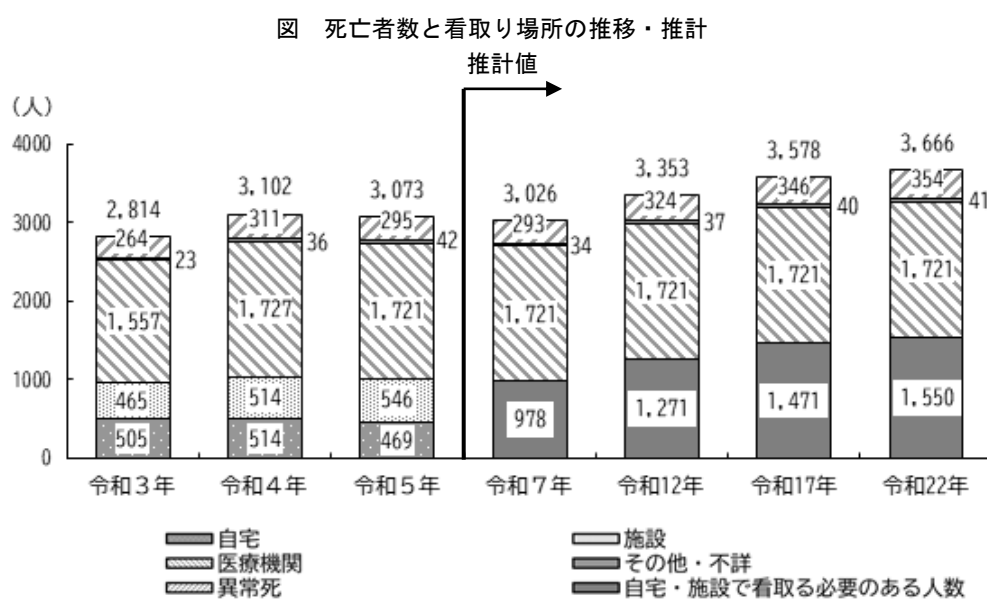


表 死亡者数と看取り場所の推移・推計

単位：人

区 分	2021 年 (令和 3 年)	2022 年 (令和 4 年)	2023 年 (令和 5 年)	2025 年 (令和 7 年)	2030 年 (令和 12 年)	2035 年 (令和 17 年)	2040 年 (令和 22 年)
自宅	505	514	469	978	1,271	1,471	1,550
施設	465	514	546				
医療機関	1,557	1,727	1,721	1,721	1,721	1,721	1,721
その他・不詳	23	36	42	34	37	40	41
異常死	264	311	295	293	324	346	354
合計	2,814	3,102	3,073	3,026	3,353	3,578	3,666

資料：「令和 6 年度 加古川市・稲美町・播磨町 在宅医療・看取りに関する実態調査報告書」